

北海道真狩高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和 5 年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	地域の特性や教育資源を活用することで「有機農業コース」と「野菜製菓コース」やプロジェクト学習の充実、発展を図ります。	- プロジェクト学習にて、地域と連携した学習や地域資源を活用した商品開発の実施 - 地域内外での販売会の実施における教育の充実、発展	- 海外観光客へ向けた販売会の実施 - プロジェクトをはじめとした学習にてグローバルな視点を取り入れた目標の設定と実施	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	インバウンドをいかし生徒の英語教育における実践機会を提供することでグローバル教育を推進します。	英語に触れる取り組みを取組みが増え、英語検定受検者数の増加	地域と協力し、海外の方に対応した販売会や交流会の実施	3
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	担い手研修として講演会や先進地視察を実施します。 地域に向けたGAP公開審査を実施します。	- 管内外の農業関連施設の視察研修の実施 - 関連機関と連携し、地域に向けたJGAP公開審査の実施	地域産業の教育力を生かした担い手研修の実施	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	日頃の学習を生かし、地域創生や地域貢献を意識したプロジェクト活動の課題設定をし、関係機関と連携した専門教育を推進します。	地域の小学校や農家、関係機関との連携による農業体験学習や大豆100粒運動、各種コンテストの入賞、商品化・販売の実施	- 地域特産物などの有機栽培の実施 - SNSなどを活用した広報活動による、本校商品のさらなる発信	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	循環型社会意識を高め、安全・安心な農産物・加工品の生産・製造により地域への発展力を高めます。	- 有機JASとJGAPの認証や地域資源を活用した循環型農業の実施 - HACCPの管理体制による安心安全な作物生産や菓子製造の実施	本校管理体制の地域発信に向けた広報活動の実施	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	村立学校の特色をいかし、保・小・中との連携学習や地域交流をとおして、農業教育活動を地域に広めます。	- 本校で栽培した草花を利用した花壇造成や花加工体験など交流・連携学習の実施 - コースの特性をいかした交流の実施	各連携をとおして、地域に向けて本校の教育活動のさらなる発信	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	創造社会に向けたスマート農業や持続可能な農業を推進します。	- ロボットトラクタにおける自動操舵や農業用ドローンの活用 - リジェネラティブ農業・炭素循環農法による有機農業に向けたの産官学連携の実施	- タブレットを活用したスマート農業や地域交流の実施 - 持続可能な農業に向け科学的な視点で考える力を身につけさせる	3
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	危険物取扱や普通救命講習の資格取得を推奨します。 校内防災をはじめ地域防災について意識を高め、各施設、設備、車輛等の点検・管理に努め、生徒の安全教育を推進します。	- 危機管理マニュアルの点検・見直しの実施 - 防災教育や安全教育として避難訓練や普通救命講習の実施	- 危機管理意識を高め管理記録の保管と情報共有 - 労働災害防止に向けた情報や行動連携の強化	4